

令和七年度 中学生の「税についての作文」

野田市長賞

かけがえのない時間を支える税

野田市立北部中学校 第三学年 茂木 真慧

「税」という言葉を聞いたとき、私は最初「大人が払うお金」というくらい印象しかありませんでした。しかし、授業で税について学んだり、日常生活を振り返ったりするうちに、税は私たちの暮らしを支える大切な仕組みであることに気付きました。

私の趣味はスケートボードです。ある時、私は友達と一緒に公園で練習をしていました。その際にふと周りを見渡すと、公園の遊具や広場がきれいに整備されています。このような施設は税金で作られているのだとその時にはっとしました。私の大好きなスケートボードを思いきり楽しめるこの場所は、税によって支えられていることに気付いたのです。

もし税がなければ、公園の整備は行き届かず、古くなった遊具や壊れた場所がそのままになつてしまうかもしれません。そうでなければ、安全に遊ぶこともできなくなり、私たちが集まる場所も失われてしまいます。仲間と一緒に練習をしたり、成功を喜びあったりできるのは、公園や広場が整えられているからこそです。税は「社会の安心や安全を守るもの」であると同時に、「私の楽しみや仲間との時間を支えるもの」でもあります。

また、私は風邪をひいて病院に行ったとき、診察や薬代が無料であることに驚いたことがあります。母から「医療費の一部は税金で支えられているんだよ」と教えてもらい、税は健康や命を守ることに使われていることを知りました。さらに、通学で使う道路や信号、夜道を照らす街灯なども税で整備されています。私たちの生活の中で「当たり前」と思っているものの多くが、実は税によって成り立っているのです。

税は「みんなで出し合うお金」であるとともに「みんなで社会を支える力」だと思います。一人ひとりが少しずつ負担することで大きな力となり、誰もが安心して生活できる社会をつくることができます。もし、税がなければ、お金のある人だけが安心して暮らせる社会になつてしまい、弱い立場の人が困る世の中になるかもしれません。だからこそ税は、社会全体で支え合うための大切な仕組みなのだと思います。

私が大人になったら、社会の一員として税をしっかり納めたいです。そして、税によって支えられている施設や仕組みに感謝しながら暮らしていきます。

スケートボードを通じて仲間と過ごす楽しい時間も税が支えてくれていることを忘れずに施設も絆も大切にしていきたいです。税は「取られるお金」ではなく、「みんなで未来をつくる力」だということを心に刻んでこれからも生活していきます。